

小規模特認校制度 Q&A

Q1 児童募集の考え方は？

- ・伊深小学校、三和小学校の特色ある教育活動に魅力を感じ、その趣旨に賛同し、そこで学んでみたいという児童の保護者様にご応募いただければと考えています。

Q2 特色ある教育活動とは？

- ・少人数教育によるきめ細やかな指導を行っています。
- ・自然環境の活用や地域住民との交流を大切にしています。
- ・全校児童が一緒に取り組む活動を展開しています。

Q3 募集人数は？

- ・少人数の特色を生かすために在校生を含めて一学年17人としています。
- ・美濃加茂市では、小学校低学年は一クラス35人です。小規模特認校では、少人数の良さを生かすため、その半分までの人数を限度としています。

Q4 募集人数を超えた申し込みがあった場合は？

- ・抽選により決定します。兄（姉）がいる場合は、優先されます。

Q5 兄（姉）が制度を利用していたら、弟（妹）も利用しないといけないのか？

- ・その必要はありません。ただし、兄（姉）で学校が異なると保護者様の負担が増えることが心配されます。ご家庭での判断にお任せします。

Q6 就学期間は？

- ・原則として卒業するまでとしています。“お試し”のように軽くお考えになりますと、実際に就学するお子様に多大な影響が及ぶことが心配されますし、受け入れる小規模特認校側（児童・PTA・学校）にも困惑を与えることになるためです。

Q7 途中で特認校へ通えなくなった場合は、元の学校に戻れるのか？

- ・児童の健全育成が最重要であるため、状況に応じて居住地の学校へ戻ることも判断します。ご相談ください。

Q8 通学の手段は？

- ・原則保護者の責任と負担による送迎となります。通学班の集合場所まで送っていただき、そこからは徒歩で通学させることも可能であれば検討します。

Q9 送迎バスはないのか？

- ・送迎バスについては、保護者様にも学校や地域との関わりを持っていただきたく、現在のところは考えておりません。

Q10 体験入学は可能か？

- ・ほほえみ参観日にはどなたでも学校見学をしていただくことができます。また、運動会などの学校行事を見ていただくことも可能です。さらに、事前に学校見学の希望をご連絡いただければ日程調整などの対応は可能です。一週間前にご連絡をいただければ、給食の手配も可能です。

Q11 体験入学は、所属の学校を「欠席」することになるのか？

- ・児童の不都合にならないように配慮していきたいと思えます。

Q12 PTA 活動や役員を引き受けないといけないのか？

- ・お子様のためにも、できるだけ積極的に参加していただければと思います。しかし、お仕事やご家庭の事情によって役を引き受けていただくことが困難な場合もあると思えますので、PTAとコミュニケーションをとっていただきたいと思います。ちなみに、小規模特認校側の保護者の方々からからは、「小規模校に来てもらえることを歓迎します。」「PTAの役をやっていただいても、みんなで活動をバックアップしますよ。」というような頼もしい声をいただいています。

Q13 制度導入により小規模校の特色が失われてしまうことはないか？

- ・小規模校の特色を生かせるように受け入れ人数を17人にしています。

Q14 17人受入れの模擬体験をしなくてもよいのか？

- ・両校ともこれまでに児童数が多い時期もありましたので、模擬体験を行わなくても想定は可能であると考えています。

Q15 迎える時間に間に合わない場合は、児童を見ていてもらえるのか？

・放課後児童クラブ（学童保育）を利用いただければ、18時30分までお預かりすることができます。現在は、三和小学校の児童はスクールバスで伊深小学校の放課後児童クラブを利用していますが、利用者が5人あれば、三和小学校でも放課後児童クラブを開設します。

Q16 卒業後の進路は？

・原則、居住地の中学校になりますが、小規模特認校区の児童が進学する双葉中学校（加茂郡富加町）へも可能です。ご相談ください。

Q17 子ども会やスポーツ少年団の活動は？

・子ども会は伊深地区、三和地区でそれぞれあります。スポ少は、種類により、他の地区と一緒に活動しています（例：野球＝伊深＋三和＋蜂屋。バレー＝伊深＋三和＋富加＝MT夢クラブ。サッカー＝加茂野で）。いずれの活動もお子様本人の気持ちやご家族のお考えを最優先に、ご家庭で決めていただければ結構です。

Q18 資源回収はどうするのか？

・校区を変更して、蜂屋小学校から双葉中学校へ通うことになった際（中学校の学校規模適正化）も、資源回収についてご意見が出されましたが、生徒は通っている双葉中学校の資源回収の活動を行い、住民としては、蜂屋地区の資源回収に資源を提供することで協力していると聞いています。この例から、お子様と保護者様は、小規模特認校の資源回収の活動を行っていただき、居住地での資源回収の際には、資源を提供するなどの協力を考えていただければよろしいかと思えます。今後PTA等と相談をしていきたいと思えます。